

政策調整会議の概要

開催日 令和6年5月30日(木)

◎項目

- 1 東京都との連携事業等について
- 2 令和6年4月分の時間外勤務の状況について

◎内容

1 東京都との連携事業等について【総合企画部】

○政策企画課長

当県は平成30年に品川区と連携協定を結んでおり、これをきっかけに東京都とも連携事業を推進している。

東京都では全国各地との共存共栄を掲げており、各種事業を立ち上げて連携を実施している。

主な事業として、東京都が運営するポータルサイト「東京と全国各地との共存共栄」における都内開催イベントの紹介、東京都と自治体の相互PR、東京都内外のスタートアップ支援、国産木材魅力発信拠点「MOCTION(モクション)」における木材製品展示イベントや木材製品展示商談会「WOODコレクション」への参加、税務ノウハウの継承サポート等がある。ポータルサイトへの掲載やスタートアップ支援、モクション・WOODコレクションについては当県も参加している。

各種事業で活用できるものもあると思われることから、検討して積極的に実施していただきたい。

○東京事務所副所長

東京事務所では、これまでにポータルサイトへの掲載依頼(「牧野富太郎ゆかりの地in首都圏スタンプラリー」や「高知家ぐるめナビ!in首都圏」等)を実施しているほか、東京都が開催している物産展「Tokyo Tokyo 全国物産展」への出展等を通じて東京都と連携している。

○総合企画部副部長

県内の起業支援プラットフォームであるKSP(こうちスタートアップパーク)が7年前にスタートしている。東京都もスタートアップ支援事業を行っており、ローカルビジネスの分野で興味のある若者を呼び込むという視点での活用もできると思うので検討していただきたい。

2 令和6年4月分の時間外勤務の状況について【総務部】

○行政管理課長

令和6年4月の時間外勤務について、本庁・出先機関の総計は前年同期と比較して1.8%減、本庁は2.1%減、出先機関は3.2%減であった。全体的には各種計画の改定に向けた業務の減少が時間外減少の要因と考えられる。

各部局の時間外勤務を見ると、危機管理部が4月発生 of 豊後水道を震源とする地

震の対応で前年比増、水産振興部は昨年行った会計検査の対応が今年は無かったことで前年比減となっている。

以前説明したことの繰り返しになるが、時間外勤務実績とパソコン使用記録との乖離について、昨年度の組合交渉の結果、今年度は一定の時期に5所属程度を抜き打ちで抽出し、時間外勤務の調査を行うこととなっている。昨年度の調査では一定数の乖離が見られた。そのうちの一部について時間外の追命をして頂くなどの対応もして頂いた。

引き続き、管理職は職員の時間外勤務について目配りをするとともに、確認し、必要な場合は事後の追命などもお願いしたい。

○ 副知事

1点目は、事業の進捗管理について。

例えば、目玉となる事業にも関わらず、現時点で未だに準備もできていないといったことがあった。副部長はしっかりと進捗管理をしていただき、PDCAを各部で回していただくようお願いしたい。

2点目は、業務分担について。

新年度が始まって2ヶ月が経とうとしているが、改めて所属内を見ていただき、業務分担が適切か、一部の事業に過度な負担が掛かっていないか等を目配りしていただきたい。

3点目は、知事協議について。

知事協議の資料や説明については簡潔に分かり易くを心掛けること。資料に書いていることを読むだけというようなことは慎み、ポイントを絞った説明を行っていただきたい。

また、説明に時間を要する内容の場合は事前に秘書課と時間調整をすることも可能なので、協議時間についても部内で検討しておくこと。